



西脇市Facebookでも情報発信中！紙面に載せきれないまちの話題がどんどん届きます。



冬の播州路駆ける—西脇多可新人高校駅伝

西脇多可新人高校駅伝競走大会がアピカ西脇を発着点に開かれ、男女合わせて130チームが出場。約1万1千人が沿道に詰めかけ、選手たちに熱い声援を送りました。

男子は洛北A（京都府）が初優勝、女子は長野東（長野県）が2年連続3度目の頂点に立ちました。3位までと市内の高校の結果は次のとおり（西脇高校女子はオープン参加）。

- ▶男子 ①洛北A／2時間5分33秒
②九州学院（熊本県）／2時間6分05秒③須磨学園A／2時間6分10秒④西脇工業A／2時間7分40秒⑤西脇工業B／2時間13分12秒⑥加古川北・西脇／2時間32分25秒▶女子
①長野東／1時間8分18秒＝大会新
②大阪薫英女学院A（大阪府）／1時間9分47秒③智辯奈良カレッジ（奈良県）／1時間11分08秒④西脇工業／1時間13分16秒〔2月15日〕



こどもまんなか社会の実現へ—シンポジウム開催

全ての子どもと若者が健やかで幸せに生活できる「こどもまんなか社会」の実現を目指し、こども家庭庁との共催でシンポジウムを開催。市制20周年記念事業の一環で、こども家庭庁職員による基調講演に続いて、元サッカー日本女子代表の丸山桂里奈さんと大阪教育大学教授の小崎恭弘さんらが地域で子どもを大切に育む意識や子育て支援について語り合い、こどもまんなか社会への気運を高めました。

また、こどもプラザフェスタを同時開催。高校生や各種団体が工作や体験などができる多彩なブースを設け、多くの親子連れでにぎわいました。〔1月25日／みらいえ〕

1月24日～2月1日を「にしわき『こどもまんなか』ウィーク」と銘打ち、期間中は子どもたちが主役となった各種記念事業を展開しました。



工夫凝らした力作ずらり

「第41回西脇市子ども造形作品展」に、市内在住の児童生徒が制作した作品約820点を出品。創意工夫を凝らした絵画や工作、工芸、デザインの作品が並び、家族連れの目を楽しませました。〔1月24日～26日／市民交流施設〕



アイデアレシピ競う

カレーをテーマにしたアイデアレシピのコンテストに、市内外から141作品の応募があり、社高校2年の志方沙衣さん＝写真右＝が最優秀賞を、西脇高校1年の寺西陽音さんが審査員特別賞を受賞しました。〔2月7日／みらいえ〕



横尾忠則コレクション展

本市出身の世界的美術家・横尾忠則さんの作品を集めたコレクション展が開かれています。第6弾の今回はスポーツと音楽、舞台をテーマに、ポスターや関連資料29点が並んでいます。3月22日まで。大人300円。〔岡之山美術館〕



西高生が図書館に点訳絵本贈る

西脇高校生活情報科の3年生が、西脇点訳友の会のメンバーから指導を受けながら絵本の点訳に挑戦。透明のテープに点字を打ち込んだ15冊が完成し、視覚障害がある方に読書の楽しさを伝えたいと図書館に寄贈しました。平成11年から続く取り組みで、今回贈られた絵本を含めると、300冊に上ります。〔1月23日／図書館〕



Eテレの工作番組を公開収録

市制20周年を記念し、NHKの子ども向け工作番組「ノージーのひらめき工房」の公開収録を実施。市内外の親子連れ約440人が参加し、主人公のノージーと仲間の妖精たちとともに播州織をイメージした工作に挑戦しました。収録の様子は3月6日に再放送（予定）されます。〔1月31日～2月1日／市民交流施設〕